

Temnothorax unifasciatus

(Latreille, 1798)

ガスターを横切る暗い帯をもつ小さくておだやかなアリで、コロニー全体がドングリの中で暮らせるほど小さいです。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

20–26 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

5–10 °C

11月–3月



結婚飛行

7月–8月



働きアリ

2.5–3.5 mm

どれも同じ大きさ



女王

3.5–4.5 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ200匹規模

成長速度：普通

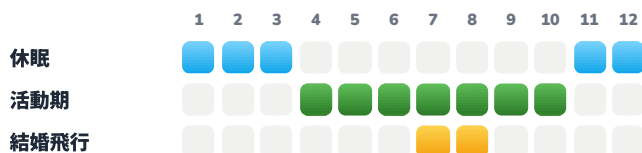


脱走リスク

中程度

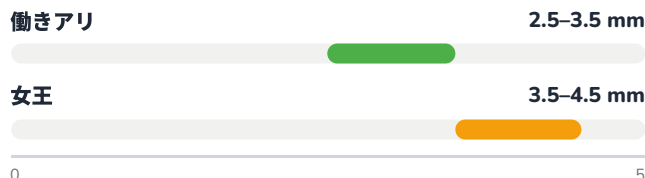
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です
- 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

一年中暖かい部屋ではなく、季節を用意しましょう。飼育者によると、丈夫な種で、夜が涼しく、本格的な冬の休息がある環境のほうがうまくいきます。ただし、巣そのものが暑くてびしょびしょになるのは避けてください。日当たりのよい湿ったセットアップのせいで、ある飼育者は働きアリ約24匹と蛹数個を失いました。

注意

はちみつや砂糖水をむき出しの1滴で出してはいけません。ごく小さな1滴でも、働きアリが捕まって溺れることがあります。代わりに、綿の切れ端に液体を染み込ませ、こまめに交換しましょう。